

別表 1

(宮内庁)

| 事 項 名 | 21年度減量・効率化の取組内容 |
|--|---|
| <p>本庁におけるアウトソーシング等による効率化（設備保守、自動車輸送等の現業的業務等）（☆）</p> | <p>宮内庁行政効率化推進計画に沿って、平成 21 年度において、電話交換業務の民間委託、機械設備保全管理業務の合理化等により 4 人合理化する。</p> <p>本庁においては、現業的な業務の在り方等について検討を行い、その結果を踏まえて、22 年度以降も引き続き、業務の合理化、民間委託等により定員の計画的な合理化を図る。</p> <p>また、管理部における衛生等に関する検査業務やデータ収集業務等について、アウトソーシングの導入、再任用短時間勤務職員の活用等を検討し、その結果を踏まえて、22 年度以降の合理化を検討する。</p> |
| <p>【京都事務所】 京都事務所の管理業務等のアウトソーシング等による効率化（施設管理、樹林管理等）（☆）</p> | <p>御所・離宮等の皇室用財産の施設管理、樹林管理業務等について、その業務の特殊性を踏まえつつ、業務の合理化を推進し、平成 18～20 年度に 3 人、21 年度に 2 人合理化することを含め、22 年度末までに定員を 5 人以上合理化する。</p> <p>上記に加え、京都事務所が実施している正倉院事務所の空調設備保守業務及び庭園管理業務について、再任用短時間勤務職員を活用するなどの段階を経た上で、全面的な民間委託の実施を検討し、その結果を踏まえて、22 年度以降の合理化を検討する。</p> |
| <p>【正倉院事務所】 正倉院事務所の管理業務等のアウトソーシング等による効率化</p> | <p>正倉院事務所においては、今後も引き続き、その業務の特殊性を踏まえつつ、適切な管理に支障のない範囲内で、業務の合理化、民間委託の推進による効率化を図る。</p> |
| <p>【御料牧場】 御料牧場の管理業務等のアウトソーシング等による効率化（掃除刈り・松食い虫病害虫防除業務、設備管理業務）</p> | <p>御料牧場における業務の特殊性を踏まえつつ、業務の一層の合理化、掃除刈り・松食い虫病害虫防除業務、設備管理業務の一部について民間委託を推進することにより、平成 18～20 年度に 3 人、21 年度に 1 人合理化することを含め、22 年度末までに定員を 4 人以上合理化する。</p> <p>上記に加え、引き続き、農機具関係の保守点検業務について、全面的な民間委託を推進するとともに、22 年度以降、農機具係と耕作係の統合を検討する。</p> |
| <p>【陵墓監区事務所】 陵墓監区事務所の管理業務等のアウトソーシング等による効率化（☆）</p> | <p>陵墓の維持管理については、その業務の特殊性を踏まえつつ、業務の一層の合理化、各監区における日常管理業務のうち、陵墓の適切な管理に支障がないと考えられる部分について、民間委託を検討すること等により、平成 18～20 年度に 9 人、21 年度に 3 人合理化することを含め、22 年度末までに定員を 6 人以上合理化する。</p> <p>また、上記に加え、日常の巡回業務について、これまで行ってきた機器等の導入に限らず、それ以外の手法も含め、より一層の効率化を図るため、21 年度に巡回業務の見直しに必要な調査を実施する。その調査で得られた結果を基礎</p> |

| 事 項 名 | 21年度減量・効率化の取組内容 |
|-------------------------------------|--|
| | <p>として、22 年度に具体的な取組について検討を行い、その結果を踏まえて、23 年度以降、実施可能な取組を導入し、業務の効率化を図る。</p> |
| <p>業務・システムの最適化に基づく業務の効率化・合理化（☆）</p> | <p>業務の集約化やアウトソーシング、業務処理システムの最適化等により、内部管理業務を見直す。 「宮内庁情報ネットワーク（共通システム）最適化計画」に基づき、機器の統合等による経費を中心とした効率化・合理化を実施する。 これらの取組により、平成 18～20 年度に 9 人、21 年度に 6 人合理化することを含め、22 年度末までに定員を 21 人合理化する見込みである。 以上のほか、府省共通業務・システム及び一部関係府省業務・システムについては、「IT を活用した内部管理業務の抜本的効率化に向けたアクションプラン」（20 年 5 月決定）や、各最適化計画の進捗状況を踏まえつつ、各計画の担当府省と調整を行い、府省共通業務・システムの導入による業務の効率化・合理化を実施する。</p> |
| <p>政策の棚卸しに伴う減量・効率化</p> | <p>3 年以上継続している事業の見直しを図り、陵墓石造物の保存処理について平成 21 年度概算要求を行わないこととした。また、継続する事業の予算執行に当たっては、より競争性の高い方式を取り入れるなど、経費の削減に努める。今後とも、当庁における事務・事業について、政策の棚卸し、無駄ゼロの観点からの見直しに努める。</p> |

（注）事項名に（☆）がある事項における平成21年度の合理化数は、他の事項との重複がある。